



Bridge Report セプテーニ・ホールディングス(4293)

 佐藤 光紀 社長	会社名	(株)セプテーニ・ホールディングス	
	証券コード	4293	
	市場	JASDAQ	
	業種	サービス業	
	社長	佐藤 光紀	
	所在地	東京都新宿区西新宿8丁目17番1号 住友不動産新宿グランドタワー28F	
	事業内容	ネット広告代理、販促支援やコンテンツ配信展開する子会社群が傘下に。ヤフーが資本参加。	
	決算月	9月	
HP	http://www.septeni-holdings.co.jp/		

－ 株式情報 －

株価	発行済株式数(自己株式を控除)	時価総額	ROE(実)	売買単位	
57,600円	125,826株	7,248百万円	7.4%	1株	
DPS(予)	配当利回り(予)	EPS(予)	PER(予)	BPS(実)	PBR(実)
1,000.00円	1.7%	5,960.61円	9.7倍	47,007.81円	1.2倍

*株価は2/24終値。発行済株式数は直近四半期末の発行済株式数から自己株式を控除。ROE、BPSは前期末実績。

－ 連結業績推移 －

(単位:百万円、円)

決算期	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	EPS	配当
2008年9月(実)	30,700	1,125	1,010	563	4,454.13	800.00
2009年9月(実)	33,046	598	421	-585	-	900.00
2010年9月(実)	32,648	1,098	1,024	545	4,333.90	1,000.00
2011年9月(実)	34,632	928	980	429	3,411.04	1,000.00
2012年9月(予)	40,000	1,610	1,710	750	5,960.61	1,000.00

*予想は(株)インベストメントブリッジ予想(参考値)。

セプテーニ・ホールディングスの2012年9月期第1四半期決算について、ブリッジレポートにてご報告致します。

1. 会社概要
2. 2012年9月期第1四半期決算
3. 2012年9月期上期業績予想
4. 今後の注目点

今回のポイント

- ・12/9期1Q(10-12月)は前年同期比9.9%の増収、同32.9%の営業増益。収益性の高いソーシャルゲームのヒットでメディアコンテンツ事業の損益が大幅に改善。四半期ベースで過去最高の営業利益を計上した。
- ・今期より翌四半期までの業績予想開示に変更している。2Q(1-3月)予想は前年同期比10.6%の増収、同41.4%の経常増益。この結果、1Q(10-12月)と合算した上期業績は、売上高19,610百万円(前年同期比10.3%増)、経常利益827百万円(同46.7%)、四半期純利益368百万円(同25.3%)となる見込み。
- ・1Q決算では、「モバイル」、「ソーシャル」、「プラットフォーム」の成長3分野での施策が進捗している事やメディアコンテンツ事業の業態転換が進んでいる事が確認できた。中期経営計画の2年目に当たる12/9期の立ち上がりは順調と言える。

1. 会社概要

ネット広告代理店で業界トップクラスの(株)セプテーニや、携帯電話向けコンテンツ配信を行うアクセルマーク(株)(3624)等、連結子会社16社、持分法適用会社3社と共にグループを形成。ネット専門の広告代理業務を中心に、クラウド型CRMシステムの開発や携帯電話向けコンテンツの制作・配信、及びダイレクトメールの発送代行等を手掛けている。

1990年10月、リクルート出身の七村守氏(現代表取締役会長)等によって設立された(株)サブ・アンド・リミナルがルーツ。人材コンサルティングサービスからスタートし、ダイレクトメールやカタログ等の発送代行サービスへ展開した。現在の主力事業であるネット広告事業は、現代表取締役社長 佐藤光紀氏が立ち上げた新規事業が発展したもので、2000年3月の(株)セプテーニへの商号変更を経た同年4月、インターネット広告代理事業として本格的にスタート。01年8月には株式を店頭登録(JASDAQ 上場)。06年10月に持株会社に移行し、商号を(株)セプテーニ・ホールディングスに変更した。

<主要グループ会社>

純粋持株会社		(株)セプテーニ・ホールディングス	
ネットマーケティング事業		トライコーン(株)	CRM サービス
(株)セプテーニ	インターネット広告	(株)トリガー	ソーシャルリサーチ
(株)ミュージム	モバイル広告	メディアコンテンツ事業	
MANGO(株)	SEMオペレーション	アクセルマーク(株)	モバイルコンテンツ
(株)Vasara	インターネット広告	サイテック(株)	ソーシャルアプリ開発
(株)ハイスコア	ソーシャルメディア等	その他	
(株)GRP	テレビ広告関連	(株)セプテーニ・ダイレクトマーケティング	DM 事業
(株)イーグルアイ	アドネットワーク	(株)アクレス(株)	通信販売
(株)セプテーニ・クロスゲート	アドネットワーク	新規事業開発	
(株)エイエスピー	eマーケティングソリューション	セプテーニ・ベンチャーズ	

<事業内容(12/9期に事業区分を変更)>

事業は、ネットマーケティング事業(旧ネット広告事業及び旧テクノロジー事業の一部)、メディアコンテンツ事業(旧コンテンツ事業と旧テクノロジー事業の一部)、その他(旧DM事業とその他の事業)に分かれる。

ネットマーケティング事業

従来からのインターネット広告の販売やウェブソリューション(サイト構築・運用、SEO等)に加え、アドネットワーク等のマーケティングプラットフォームやクラウド型CRMサービスの運営といった自社サービスにも力を入れている。

メディアコンテンツ事業

スマートフォンや従来型携帯電話向けに、ソーシャルゲーム、音楽、書籍、動画、占い等のデジタルコンテンツを企画・開発し、SNSや携帯通信キャリア等の様々なプラットフォームを通じて一般個人に提供。モバイルメディアの運営

も手掛ける。

2. 2012年9月期第1四半期決算

(1) 第1四半期(10-12月)連結業績

(単位:百万円)

	11/9期	1Q(10-12月)	構成比	12/9期	1Q(10-12月)	構成比	前年同期比	期初予想	予想比
売上高		8,832	100.0%	9,710	100.0%	+9.9%	9,200	+5.5%	
売上総利益		1,651	18.7%	2,006	20.7%	+21.5%	1,700	+18.0%	
販管費		1,376	15.6%	1,640	16.9%	+19.2%	1,460	+12.3%	
営業利益		275	3.1%	366	3.8%	+32.9%	240	+52.7%	
経常利益		265	3.0%	407	4.2%	+53.3%	250	+63.0%	
四半期純利益		127	1.4%	128	1.3%	+0.9%	130	-1.1%	

※数値には(株)インベストメントブリッジが参考値として算出した数値が含まれており、実際の数値と誤差が生じている場合があります(以下同じ)。

四半期ベースで過去最高の売上・営業利益を計上

売上高は前年同期比9.9%増の9,710百万円。主力のネットマーケティング事業において、スマートフォン広告をけん引役にネット広告の販売高が過去最高を更新した他、Facebook等のソーシャルメディア関連サービスも好調に推移。メディアコンテンツ事業も事業主体である子会社の合併効果(後述)とソーシャルゲームのヒット(「キングダムクロニクル」など複数のタイトルがヒット)で売上高が同3.1倍に拡大した。

利益面では、売上の増加と収益性の高いソーシャルゲームの寄与で売上総利益率が20.7%と2.0ポイント改善。人件費の増加や事務所移転費用の計上等による販管費の増加を吸収して営業利益が同32.9%増の366百万円となり、四半期ベースで過去最高を更新。持分法投資損益の改善(△5百万円→38百万円)で営業外損益も改善したものの、特別損失161百万円を計上したため四半期純利益は128百万円と同0.9%の増加にとどまった。

尚、特別損失の計上は、11年10月1日に連結子会社アクセルマーク(株)がエフルート(株)を吸収合併した事に伴い、合併以前に(株)セプターニ・ホールディングスが保有していたエフルート(株)の株式について評価替えを実施したが、この際、差損154百万円が発生した事による。

四半期業績の推移

(単位:百万円)

	10/9-2Q	3Q	4Q	11/9-1Q	2Q	3Q	4Q	12/9-1Q	前四半期比
売上高	8,248	8,148	8,262	8,832	8,953	8,136	8,709	9,710	+11.5%
売上総利益	1,614	1,581	1,587	1,651	1,643	1,483	1,593	2,006	+26.0%
販管費	1,314	1,321	1,299	1,376	1,335	1,428	1,304	1,640	+25.8%
営業利益	300	260	288	275	308	55	288	366	+26.8%
売上総利益率	19.6%	19.4%	19.2%	18.7%	18.4%	18.2%	18.3%	20.7%	+2.4p
営業利益率	3.6%	3.2%	3.5%	3.1%	3.4%	0.7%	3.3%	3.8%	+0.5p

(2) セグメント別動向

セグメント別売上高・利益

(単位:百万円)

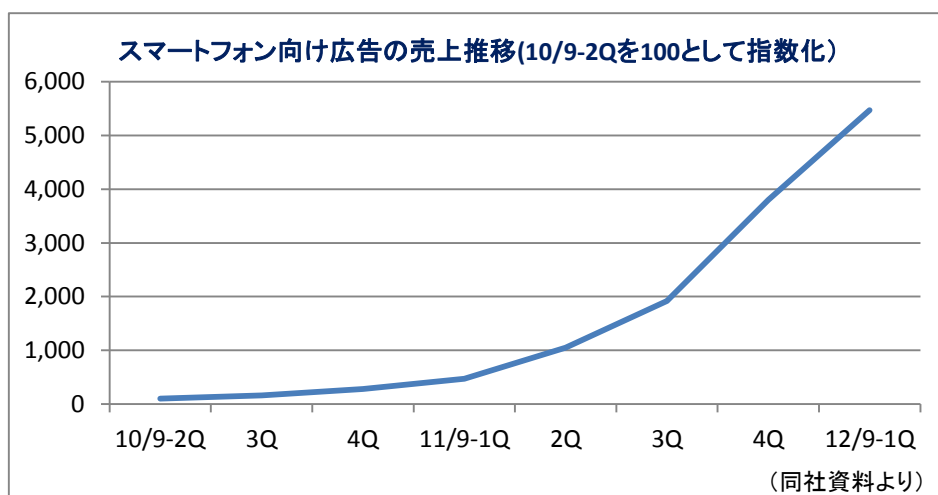
	11/9期	1Q(10-12月)	構成比	12/9期	1Q(10-12月)	構成比	前年同期比
ネットマーケティング		7,646	86.4%	7,872	80.9%	+2.9%	
メディアコンテンツ		326	3.7%	1,015	10.4%	+210.8%	
その他		876	9.9%	837	8.6%	-4.4%	
調整額		-17	-	-14	-	-	
連結売上高		8,832	-	9,710	-	+9.9%	
ネットマーケティング		304	90.7%	293	67.8%	-3.7%	
メディアコンテンツ		-13	-4.1%	98	22.8%	-	
その他		45	13.5%	40	9.3%	-10.6%	
調整額		-60	-	-66	-	-	
連結営業利益		275	-	365	-	+32.9%	

ネットマーケティング事業

売上高 7,872 百万円(前年同期比 2.9%増)、セグメント利益 293 百万円(前年同期比 3.7%減)。拡販に取り組んだスマートフォン広告(前四半期比 1.4 倍に拡大)をけん引役にネット広告の販売高が過去最高を更新。Facebook 関連サービス(ページ制作・運用支援、広告)も引き続き好調に推移した(スマートフォン広告と同様に前四半期比 1.4 倍)。

また、自社サービス強化の一環として Facebook アプリのソーシャルギフト「BIRTHDAY CLAPPER」の提供を開始した他、Twitter 関連で新たな広告サービス「プロモ商品」の販売を開始した。アドテクノロジーを活用しディスプレイ広告分野を強化するべく、自社アドネットワーク「Spider！」の運営主体だったアドネットワーク事業部門を分社化して(株)イーグルアイを設立した。

セグメント利益が減少したのは、本社移転関連の一時費用の計上等による販管費の増加が利益を圧迫したため。売上の増加に加え、売上総利益率も 17.1%と前年同期比 0.2 ポイント改善(前四半期比 0.3 ポイント改善)したものの、カバーできなかった。



メディアコンテンツ事業

売上高 1,015 百万円(前年同期比 210.8%増)、セグメント利益 98 百万円(前年同期は 13 百万円の損失)。売上の拡大は(前四半期比では 239.6%増)、アクセルマーク(株)がエフルート(株)を吸収合併したためだが、利益面では、収益性の高いソーシャルゲームのヒットによるところが大きかった(「キングダムクロニクル」など複数のタイトルがヒットし、売上高 350 百万円を計上)。

利益面では、ソーシャルゲームの寄与で売上総利益率が 42.5%と同 6.9 ポイント改善(前四半期比 15.0 ポイント改善)し、合併や他部門からの人員シフトによる販管費の増加(333 百万円、前年同期比 156.0%増、前四半期比 206.6%増)を吸収して、前年同期は 13 百万円の損失だった損益が 98 百万円の利益に転じた。

提供会社	アクセルマーク(子会社エフルートレックス)	サイテック	
プラットフォーム	mobage	GREE	
タイトル	 キングダムクロニクル	 王様ゲーム	 乙女転生グリモア伝
ジャンル	カードバトルゲーム		
登録者数(12年1月31日現在)	約 83 万人(合算)	約 20 万人	

(同社資料より)

3. 2012年9月期上期業績予想

同社は、事業環境の変化等を踏まえ、今期より翌四半期までの業績予想開示に変更した。

第2四半期(1-3月)はネットマーケティング事業、メディアコンテンツ事業共に増収・増益が見込まれ、前年同期比10.6%の増収、同41.4%の経常増益を予想している。この結果、第1四半期(10-12月)と合算した上期業績は、売上高19,610百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益766百万円(同31.1%増)、経常利益827百万円(同46.7%)、四半期純利益368百万円(同25.3%)となる見込み。

第2四半期(1-3月)連結業績

(単位:百万円)

	11/9期 2Q(1-3月) 実績	構成比	12/9期 2Q(1-3月) 予想	構成比	前年同期比
売上高	8,953	100.0%	9,900	100.0%	+10.6%
営業利益	308	3.4%	400	4.0%	+29.9%
経常利益	297	3.3%	420	4.2%	+41.4%
四半期純利益	166	1.9%	240	2.4%	+44.6%

上期連結業績

(単位:百万円)

	11/9期 上期 実績	構成比	12/9期 上期 予想	構成比	前年同期比
売上高	17,786	100.0%	19,610	100.0%	+10.3%
営業利益	584	3.3%	766	3.9%	+31.1%
経常利益	563	3.2%	827	4.2%	+46.7%
四半期純利益	293	1.6%	368	1.9%	+25.3%

4. 今後の注目点

現在、「セプテーニ・オリジナル」をコンセプトとする3か年の中期経営計画(11/9期~13/9期)が進行中である。この中期経営計画のポイントは、「モバイル」、「ソーシャル」、及「プラットフォーム」(仕組みの構築により収益をあげる)といった成長3分野への積極投資を通じて自社サービス中心の業態へ転換を図り、高成長・高収益のビジネスモデルを構築する事。

第1四半期は、「モバイル」ではスマートフォン向け広告販売が大きく伸長し、「ソーシャル」では自社サービスを含めたFacebookやTwitter関連の事業が拡大した。また、メディアコンテンツ事業において音楽等からソーシャルゲームを中心とした業態への転換が進んでいるが、これは「モバイル」「ソーシャル」両分野の強化と見ることができる。「プラットフォーム」では、アドネットワーク分野の事業が本格化した他、前期より開始した新規事業であるソーシャルモニタープラットフォーム「LIKE!」も堅調に推移している模様。中期経営計画では13/9期に売上高500億円、営業利益30億円の達成を目指しているが、その2年目に当たる12/9期の立ち上がりは順調と言える。

本レポートは情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を意図するものではありません。また、本レポートに記載されている情報及び見解は当社が公表されたデータに基づいて作成したものです。本レポートに掲載された情報は、当社が信頼できると判断した情報源から入手したものです。その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。当該情報や見解の正確性、完全性もしくは妥当性についても保証するものではなく、また責任を負うものではありません。本レポートに関する一切の権利は(株)インベストメントブリッジにあり、本レポートの内容等につきましては今後予告無く変更される場合があります。投資にあたっての決定は、ご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。

Copyright(C) 2012 Investment Bridge Co.,Ltd. All Rights Reserved.